



日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

www.alpajapan.org

Date 2005.04.04 No. 28 - 25

発行:日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan
幹事会

〒144-0043
東京都大田区羽田5-11-4
フェニックスビル
TEL.03-5705-2770
FAX.03-5705-3274

「企業の枠を超えた職場確保」へ！！ 2月よりJALJからJALIへFE4名が出向！

2005年度中に、JALJから在来A300型機が退役することに伴い、2月22日付けで、4名のA300型機FEが、JALIへ出向することになりました。4名の方は、JALIで在来B747型機への移行訓練を受け、年内にもチェックアウトする予定です。

日乗連はこれまで「FEの職場の問題はもはや一企業内で解決できる問題ではなく、企業の枠を超えて考えるべきだ」として、『すべての航空機関士が乗務職として定年を迎えられるよう、操縦士への職種変更訓練の実施と、企業の枠を超えた航空機関士としての職場確保を目指す』との方針を持って運動を進めてきました。JALJ労組FE支部も同様に、企業の枠を超えたFEとしての職場確保を要求し、今回の出向が実現したものです。

現在JALJのA300型機FEのうち、8名の方が在来B747型機の限定取得と出向を希望されており、今回の4名はその第一陣となります。JALJから出向するFEで、JALJ労組FE支部組合員の方については、過去の東亜国内航空からの出向例と同様に、日本航空乗員組合との2重加盟になる予定です。今後は関係する各組合で、これからの訓練をバックアップしていくこととなります。

今回の出向にあたっては、JALJ経営が「出向先(JALI)の賃金を適用する」としていることなど、まだまだ解決すべき問題は多く残されています。しかし、昨年9月まで行われていたANAからJAS・JALJへの出向や、今回のJALJからJALIへの出向など、「企業の枠を超えたFEとしての職場確保」はFEの職場の問題を解決する上で有効な手段となります。また、経営にとっても有効な手段であるという認識は持てるはずで、日乗連は、今後も「企業の枠を超えた職場確保」の実現に向け運動を進めていきます。

